



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 グレイステクノロジー株式会社
 コード番号 6541 URL <https://www.g-race.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田智也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大池信之
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5777-3838

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,746		840		846		807	
2020年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 808百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	56.94	55.58
2020年3月期第3四半期		

(注) 2021年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,165	2,922	47.4
2020年3月期			

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,921百万円 2020年3月期 百万円

(注) 2021年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予定額は、未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500		1,000		1,000		850		60.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) HOTARU株式会社、螢日国
際貿易(上海)有限公司、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	14,199,300 株	2020年3月期	14,128,500 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	241 株	2020年3月期	181 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	14,176,171 株	2020年3月期3Q	13,882,149 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、2020年11月13日付でHOTARU株式会社の全株式を取得しました。これに伴い、2021年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。

2. この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っていません。

（1）経営成績に関する説明

①業績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞局面からの改善が見受けられたものの、足元では再び感染症が拡大する中、先行き不透明な状況が続いております。国内大手メーカーでは、先進技術に対応するための研究開発投資、及び人手不足に対応するための省力化投資、並びに老朽化した設備の更新等を積極化しており、『マニュアルを「本当に使えるもの」にし、「無駄な経費・工数のかからない」品質の高いマニュアルの普及に努める』という当社の使命と市場ニーズとの適合性が高まっております。このような経済環境の下、当社では、付加価値の高い製品・サービスの提供に積極的に取り組み、受注・売上・収益の拡大に努めてまいりました。

経営戦略につきましては、当社の主力サービスである「e-manual」の導入促進を積極的に図った結果、「e-manual」の導入社数は62社となりました。今後もより一層、「e-manual」「GRACE VISION®」の普及に努めてまいります。2019年11月に設立した米国子会社 GraceVision Inc. につきましては、米国内での新型コロナウイルスの感染拡大により、現在も稼働を停止しております。また、当社グループ全般の経営資源の補強を目的として、2020年11月にHOTARU株式会社を子会社化いたしました。今後も、成長のスピードを速めるために、シナジー効果が期待できる企業へのM&Aや事業提携等を引き続き積極的に検討してまいります。

技術面につきましては、「e-manual」及び「完全誘導型AIマニュアル」である「GRACE VISION®」の機能向上に引き続き取り組んでおります。

営業面につきましては、クライアントからの「高品質なマニュアル」への要求の高まりから、コンサルティング案件及び「e-manual」の導入に注力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,746,221千円、経常利益846,362千円、親会社株主に帰属する四半期純利益807,142千円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

（MMS事業）

MMS事業においては、上記の通り、マニュアルの標準化とモジュール化を容易に実現できる「e-manual」の導入促進を積極的に図った結果、売上高1,024,972千円、セグメント利益782,838千円となりました。

（MOS事業）

MOS事業においては、子会社化したHOTARU株式会社とのシナジー効果が発揮された結果、売上高721,249千円、セグメント利益270,263千円となりました。

②売上高の季節的変動について

当社グループの主要顧客先は国内大手メーカーであることから、国内大手メーカーの予算執行期日が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社グループの売上高の計上時期が第2四半期連結会計期間と第4四半期連結会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は6,165,466千円となりました。

（流動資産）

流動資産は4,950,134千円となりました。主な内訳は、現金及び預金3,526,935千円、受取手形及び売掛金が912,743千円、有価証券233,100千円であります。

（固定資産）

固定資産は1,215,332千円となりました。主な内訳は、有形固定資産768,001千円、投資その他の資産385,123千円であります。

（流動負債）

流動負債は1,645,798千円となりました。主な内訳は、短期借入金650,000千円、支払手形及び買掛金331,810千円、1年以内返済予定の長期借入金275,446千円であります。

（固定負債）

固定負債は1,597,280千円となりました。主な内訳は、長期借入金1,530,460千円であります。

(純資産)

純資産合計は2,922,387千円となりました。主な内訳は、利益剰余金2,166,962千円、資本剰余金509,222千円、資本金245,864千円であります

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年11月13日付でHOTARU株式会社の全株式を取得しました。これに伴い、2021年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。なお、連結業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,526,935
受取手形及び売掛金	912,743
有価証券	233,100
たな卸資産	97,317
その他	184,332
貸倒引当金	△4,294
流動資産合計	4,950,134
固定資産	
有形固定資産	768,001
無形固定資産	62,207
投資その他の資産	385,123
固定資産合計	1,215,332
資産合計	6,165,466
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	331,810
短期借入金	650,000
1年内返済予定の長期借入金	275,446
未払法人税等	143,511
その他	245,030
流動負債合計	1,645,798
固定負債	
長期借入金	1,530,460
引当金	8,213
退職給付に係る負債	17,423
その他	41,183
固定負債合計	1,597,280
負債合計	3,243,078
純資産の部	
株主資本	
資本金	245,864
資本剰余金	509,222
利益剰余金	2,166,962
自己株式	△703
株主資本合計	2,921,345
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1,041
その他の包括利益累計額合計	1,041
純資産合計	2,922,387
負債純資産合計	6,165,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,746,221
売上原価	370,299
売上総利益又は売上総損失(△)	1,375,921
販売費及び一般管理費	535,499
営業利益又は営業損失(△)	840,422
営業外収益	
受取利息	756
受取配当金	112
助成金収入	4,890
その他	4,179
営業外収益合計	9,938
営業外費用	
支払利息	3,466
その他	532
営業外費用合計	3,998
経常利益又は経常損失(△)	846,362
特別利益	
負ののれん発生益	222,375
新株予約権戻入益	735
特別利益合計	223,110
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,069,472
法人税、住民税及び事業税	241,319
法人税等調整額	21,011
法人税等合計	262,330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	807,142
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	807,142

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	807,142
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,041
その他の包括利益合計	1,041
四半期包括利益	808,184
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	808,184

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	MMS事業	MOS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,024,972	721,249	1,746,221	—	1,746,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,024,972	721,249	1,746,221	—	1,746,221
セグメント利益	782,838	270,263	1,053,102	△212,679	840,422

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配賦しない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①株式分割の方法

2021年3月31日(水曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,199,300株
今回の分割により増加する株式数	14,199,300株
株式分割後の発行済株式総数	28,398,600株
株式分割後の発行可能株式総数	101,376,000株

③分割の日程

基準日公告日	2021年3月15日(月曜日)
基準日	2021年3月31日(水曜日)
効力発生日	2021年4月1日(木曜日)

④1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり四半期純利益	—	28円47銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	27円79銭

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更について

①定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2021年4月1日をもって、当社定款第5条に定める発行可能株式総数を変更いたします。

②定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線部は変更部分を示します。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>50,688,000</u> 株とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>101,376,000</u> 株とする。

③定款変更の効力発生日

2021年4月1日

(4) その他

①資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

②新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2021年4月1日以降、以下のとおり調整いたします。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
第2回新株予約権	2016年3月11日	60円	30円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。